

横浜文化賞受賞

横浜市民ギャラリー収蔵作品巡回展開催

記念講演会

”私の歩んだ道”

■講師 画家・遠藤典太

■日時 昭和62年9月12日(土) 午後2時～4時

■場所 横浜市大倉山記念館ホール

(東急線大倉山駅下車 TEL 045-544-1881)

このたび文化の香り高い大倉山記念館で横浜市民ギャラリーの収蔵作品巡回展の開催を記念した文化講演会を企画しました。

講師の遠藤典太画伯は、現在春陽会の重鎮として、又、横浜在住の代表的作家として、画業ひとすじにご活躍されております。

先生は、炭鉱の町三池に生まれ、大正14年上京。労働のかたわら苦勞して絵画を学び、翌年(大正15年)、第4回春陽会展に初入選。

以来、洋画家として、たゆまぬ精進と努力をされ、その写実的で重厚な芸術性高い作風は、中央画壇で高く評価されております。

先生の画家としての足どりは、文字どおり横浜の美術界の歴史とともにあり、昭和21年、横浜美術協会会員として、「ハマ展」の再興に尽力され、後進の指導に力を注がれてきました。

本市の美術振興に尽された大きな功績に対して、第35回横浜文化賞(61年度)を受賞されました。

講演会では現在も、若々しい情熱をもって、画業に励んでおられる先生の“芸術のこころ”を率直に語っていただきます。この機会に是非、ご参加下さい。

◆略歴

明治36年 大牟田市に生まれる

大正8年～13年 三井三池鉱業所に勤務

大正15年 春陽会展初入選

昭和22年 春陽会会員

昭和39年～53年 横浜市民ギャラリー運営協議会委員

昭和44年～47年 神奈川県美術展審査委員

昭和52年 春陽会第45回展賞(最優秀賞)受賞

昭和55年～61年 ヨコハマ風景美術祭審査委員

昭和61年 第35回横浜文化賞受賞

現在 春陽会会員・横浜美術協会顧問

横浜歌人会会員

問合せ ●横浜市民ギャラリー TEL 045 671-3721, 3722 ●横浜市民大倉山記念館 TEL 045 541-1881

同時開催案内 横浜市民ギャラリー 収蔵作品巡回展

会場 = 横浜市大倉山記念館 《横浜市港北区太尾町706 ☎045(544)1881》

開催日 = 9月1日(火) ▶ 9月13日(日) 休館日 = 9月7日(日) 時間 = 午前10時 ▶ 午後6時

入場無料

主催 = 横浜市教育委員会
後援 = 港北区役所 + 横浜市大倉山記念館

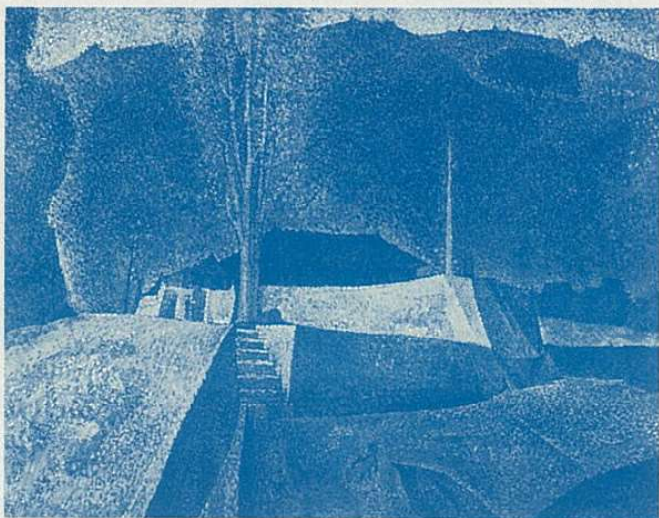
横浜市民ギャラリー収蔵作品巡回展 出品作品

このたび 文化の香り高い大倉山記念館において横浜市民ギャラリー収蔵作品巡回展を開催いたします。市民ギャラリーの20余年に亘る活動の所産であり、また、いわば“ハマの美術史”ともいえるこれらの在任、ゆかりの作家の貴重な作品の教々を どうぞ この機会にご必見下さい。

天笠義一	横浜港
安保健二	赤煉瓦倉庫
井上信道	裸婦
今関一馬	柴の門
入江正巳	華虹門
入江泰吉	ねこやなぎ 他6点
江見絹子	水尾
遠藤典太	神之木台部落(B)
大阪三千司	風景(港)
岡本太郎	まひる
奥村土牛	富士(富士宮)
垣内治雄	早春裸婦
鎌田方晴	虹 他1点
加山又造	裸婦素描
菅木志雄	Spreading Wood '88
木下孝則	軍人の顔
国領経郎	真鶴風景 他3点
斉藤顕治	擬態
斉藤義重	ボウパンC 青
桜庭彦治	港の見える丘
島田正次	静物
志村計介	紀州潮の岬
白川義員	マサダ 他1点
杉浦勝人	鮭
添田定夫	礼拝に行く聖女たち 他1点



「ねこやなぎ」 入江泰吉



「真鶴風景」 国領経郎

高松次郎	青の線と面
田澤茂	風神雷神
筒井扇玉	書(軸装)
富永敬風	書(軸装)
土門拳	室生寺
中島清之	聖壇
中平南谿	書(軸装)
長宗希佳	鶴見川国鉄鉄橋 他1点
長谷川潔	窓からの眺め 他1点
馬堀構男	ドリームランド 他1点
浜口タカシ	市電の詩 他9点
日向茂生	夕日の運河
深浦紫雲	書(軸装)
古川益弘	樹
宮本昌雄	横浜山手春秋譜
森田やすこ	ある日
山崎暁子	書(軸装)
ユリー・ワシリーエフ	宇宙との対話
吉仲太造	母子

(五十音順)

出品作品は、都合により若干変更する場合があります。御諒承ください。